

海岸漂着物から学ぶ

生物多様性講座 開催報告

ウニ殻でランプをつくろう

8月2日(日) 13:00~14:30 ★ 参加人数 子ども 16名、大人 10名 ★

1. お話し

講師 ビオトープ・ネットワーク中部 宇野先生

- ・ビーチコーミングについて（適した場所や時期、潮回り）
- ・ビーチコーミングで見つかるモノ
貝殻、ウニ殻、カニ甲羅、イカの骨、海藻、人工物など
- ・遠州灘（篠原海岸）で拾ったものを紹介
- ・内湾でひろえる貝殻、外洋でひろえる貝殻の紹介

2. 体験 ①ウニ殻でランプづくり
②フォトフレームを貝殻で飾り付け

<体験した感想>

- ・自分でたくさんの貝がらを選んで、はったり形を作ったりするのがとても楽しかったです。
- ・ウニのランプ作りと、写真立てをデコレーションしてきれいな工作ができて嬉しかったです。
- ・貝殻でカメさんを作るのは少し難しかったです。
- ・貝は飾りや置きものになるんだと知りました。ライトを使って、家でも色々作ってみたいです。
- ・ウニ殻の穴から漏れる光がとてもきれいです。
- ・材料となる貝殻が沢山ありました。贅沢に沢山の貝殻を使って工作が出来ました。かわいらしい貝がたくさんありました。

3. 参加者の声

- ・どこに貝があるのかが分かりました。また、御前崎に貝がらを集めに行きたいです。
- ・自分が知らないたくさんの貝の種類を知ることができました。世界に8万5000もの種類があると知ってびっくりしました。
- ・ウニの種類によって光り方が違うことや、トゲがなくなるとデコボコになることを知りました。光るときれいな模様になりました。
- ・ウニの殻の模様に感動しました。ウニ殻の透けている部分が足（管足）の跡だと聞いて驚きました。模様がキレイでびっくりしました。
- ・ウニの種類によって光り方が違い、おもしろいと思いました。貝の種類も思ったより多かったです。
- ・身近な浜がいろいろなものを収集できる貴重なスポットなんだと分かりました。また、「ビーチコーミング」という言葉も初めて知りました。
- ・身近にある自然なもので、色々な楽しみ方があることを知りました。ウニ殻を探しに、今度海辺に行きたいと思いました。

